

聞き取り調査の結果

1 調査の趣旨・目的

各日本語教育機関においてこれまで行われている「生活者としての外国人」に対する日本語教育について、聞き取り調査によりその具体的内容に関する情報を収集し、日本語教育小委員会における「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的な内容に関する検討に供する。

2 調査の実施日、調査対象

平成20年10月7日(火)

○財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部 p. 2-4

平成20年10月9日(木)

○財団法人新宿文化・国際交流財団 p. 5-6

○財団法人中国残留孤児援護基金 中国帰国者定着促進センター p. 7-9

平成20年10月10日(金)

○財団法人海外技術者研修協会(AOTS) 日本語教育センター p. 10-14

○学校法人江副学園 新宿日本語学校 p. 15

3 調査事項

- 学習目標
- 学習者
- 教育内容
- 教育期間

4 調査方法

- ① 調査対象の各団体に対し、事前に調査票(別紙)への記入を依頼する。
- ② 記入された情報を基に、原則として、事務局(文化庁国語課)が調査対象の各団体を訪問し、聞き取りを行う。

「生活者としての外国人」に対する日本語教育に係る教育内容等に関する調査票

団 体 名	財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部
コ ー ス 名	定住支援プログラム(半年・昼間コース) (日本語教育+生活ガイダンス+就労支援)
1 学習目標	<p><u>難民及びその家族が日本社会で自立した生活を営むために必要な日本語力を身に付けられるよう、</u></p> <p>① <u>日本社会で日常生活を送るために必要な日本語力を付ける。</u></p> <p>② <u>職場生活(学校生活)を送るために必要な日本語の聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を付ける。</u></p> <p>③ <u>日常生活を円滑に送るために必要な日本社会における生活様式, 社会習慣等について基礎的な知識を習得させる。</u></p> <p>を学習目標とする。</p> <p>難民は、母国の保護を受けられないという極めて不安定な立場にあり、多くは、日本人社会からも孤立し、不安を抱えて暮らしている。それゆえ、日本語学習の中で、自己肯定観を高めて自己表現を促すように内容が工夫され、以下のような授業方針が立てられている。</p> <p><授業方針> –エンパワメントの日本語教育を目指す–</p> <p>①実用性とアイデンティティの構築を共に重視する教育</p> <p>②自律学習能力の養成 –センター退所後を見据えて–</p> <p>③「学びの共同体」としての教室文化をはぐくむ</p> <p>④「今、ここ」の本物のコミュニケーションから学習者個々の学びを生じさせる</p> <p>⑤教師はファシリテーターとしての役割</p>
2 学習者	<p>(1)主な属性</p> <p>条約難民及びその家族</p> <p>主な出身国・地域:ミャンマー, イラン, コンゴ等</p> <p>滞日期间:来日直後から十数年以上</p> <p>その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本で既に就労しており、自習に割ける時間が少ない。 ・ 日本語の学習経験は、来日後、生活を通じて自然習得した者、テキストやテレビ等による独習、ボランティアの日本語教室で学んだ者など多様である。 ・ 概して読み書き能力が低く、4技能の力がアンバランスである。 ・ 入門, 初級, 中級まで日本語力の差が大きい。多様なレベルの学習者が同じクラスで共に学習している。 <p>(2)年齢層</p> <p>10代~60代 原則として成人を対象とする。</p>
3 教育内容	<p>生活者としての日本語コミュニケーション能力の向上を図る。また、一般的な言語能力の向上を図る。</p> <p>(1)シラバスのタイプ (別添「ユニット学習項目一覧表」参照)</p> <p>5話題シラバス及び課題シラバス統合型の多次元シラバス</p>

	<p>(2) 具体的な学習項目</p> <p>①生活日本語（コミュニケーション能力の育成） 自己紹介，数に強くなる(お金，電話番号，住所)，買物，外食，日常生活の描写，人間関係を形成する，街を歩く，交通機関の利用，安全，健康管理，病院の利用，仕事の日本語，自国の紹介，得意なことを人に教える，公共マナー，危険回避，災害への備え，人物紹介，冠婚葬祭等の社会習慣，ライフライン，公共施設の利用，役所の手続，教育，学習の振り返り，発表会等</p> <p>②一般言語項目 ・文字(平仮名，片仮名，漢字)，文法 ・プロソディ(詩や読み物を素材に音声的な側面から指導) ・談話と作文，読解 [※平成19年度までは，上記①～②の日本語教育(572時間，文化庁委託費)修了後，下記③の生活ガイダンス(120時間，外務省委託費)を別立てプログラムとして実施していた。平成20年度より，学習者の日本語力と日本の社会習慣に関する知識のさらなる強化を図るため，日本語教育と生活ガイダンスの学習項目及び実施時期を統合し，「総合教育プログラム」として新規導入している。]</p> <p>③生活ガイダンス 難民事業本部ガイダンス，緊急時の対応，防災センター見学，暮らしのノウハウ，パソコン実習，医療保険制度と病院，社会保障制度，健康(感染症，栄養，薬，アートセラピー，健康づくり)，外国人が日本で安全に暮らす(防犯，交通 安全)，日本の民主政治・選挙，日本の地理・気候，日本の歴史，日本の法律，仕事の情報，ハローワーク見学，工場見学，地域の生活情報収集，公共サービス，わたしたちのくらしと環境(リサイクルセンター見学)，日本の文化習慣，マナー・礼儀の習慣，学校教育・奨学金等，世界の難民と日本，異文化コミュニケーションワークショップ，地域参加活動</p> <p>(3) 教材一覧 ・教師作成生活日本語ユニット教材，教師作成プリント教材 ・『Japanese for Busy People KANA WORKBOOK』(講談社インターナショナル発行) ・『あたらしいじっせんにほんご かなワークブック』(国際日本語普及協会) ・『学ぼう！にほんご』漢字練習帳初級1，2～初中級(専門教育出版) ・『漢字マスター』Vol.3 ～vol.4 (個人別進度に応じて)(専門教育出版) <副教材ー主に自学自習用にー> ・『学ぼう！にほんご』シリーズ初級1，2 テキストおよび練習問題集，初中級練習問題集 (個人別進度に応じて)</p>
<p>4 教育期間</p>	<p>6か月(昼間コース) 日本語教育(文化庁予算) 572時間 } 生活ガイダンス(外務省予算) 120時間 } 定住支援プログラム 692時間 6時間/日×5日/週×19週 (午前，午後)</p>
<p>5 評価</p>	<p>(1) 実施の有・無 有り (2) 評価の目的 授業計画作成資料及び職業紹介の参考資料。 学習目標の設定と目標達成の自己評価。 (3) 評価の時期と方法 コース開始時と修了時 面接，カウンセリング，筆記 (4) 結果の活用 受講生への自律学習能力の育成</p>

Unit	話題
1	自己紹介 1. 自己紹介 2. 自分の名前について説明する 3. 好きなこと, 好きな食べ物, 趣味
2	数に強くなる 1. お金 2. 電話 (含 センターへの電話 119, 110) 3. 住所
3	買い物 (スーパー) 1. 物の名前 2. 品物を探す, 3. 商品について聞く, 4. チラシを読む
4	外食 1. ファーストフード, 2. ファミレス
5	センターに何がある?センターに誰がいる? 1. センター内の場所・物の名前 2. 事務所の人
6	街へ出かけよう 1. 町取材 2. タウンマップを作る 3. 発表
7	日常生活 1. 一日の生活 2. 私の休日 3. 私の仕事
8	交通機関の利用 1. 通勤・通学 2. 駅で 3. 国内旅行 4. 日帰りツアー計画
9	身近な人をもっとよく知る 1. 好みを述べて, 好みを聞く 2. ほめる・共感する 3. あのひとと話そう
10	健康と病気 1. 体調について話す 2. 私の健康法
11	病院の利用 1. 病状を訴える 2. 病院を利用する 3. 薬
12	仕事の話 1. 仕事の経験を話す 2. 仕事について夢や希望 3. 職場のマナー
13	自国の紹介 (行くならここ, 食べるならこれ, 見るならこれ, 買うならこれ・・・) 1. お国自慢1 2. お国自慢2 3. お国自慢3 4. まとめて発表
14	あなたがコーチ! -地域社会に参加する- 1. 何の先生になる? 2. クラスを開こう 3. 実際に教えよう
15	迷惑! 迷惑! 迷惑! -公共マナーを学ぶ- 1. 絵文字とマーク 2. 騒音 3. ゴミ
16	あぶない! 気をつけて! -身の回りの危険- 1. とび出すな! 2. 混ぜるな危険! 3. ちょっと待って! 大丈夫?
17	ご紹介いたします, この人を -人物について語る- 1. 人柄を語る 2. 人生を書く 3. 発表
18	緊急事態発生 1. 日本の災害 2. 災害に備える 3. 緊急時に助けあう
19	比べてみよう 1. 身ぶりてぶり 2. 贈物の習慣 3. 冠婚葬祭 4. 手紙【季節のあいさつ】
20	郵便受けに届くもの 1. 大事なものを捨てないで 2. 請求書 (電気, ガス 水道)
21	公共施設の利用 1. 市役所って, どんどこ? 2. 図書館を利用しよう 3. 公民館を利用しよう
22	教室に来る前の私, 今の私, これからの私
23	発表会の企画, 発表

★ 追加ユニット: 教育 (学習者のニーズに応じて)

「生活者としての外国人」に対する日本語教育に係る教育内容等に関する調査票

団 体 名	財団法人新宿文化・国際交流財団
コ ー ス 名	新宿区日本語教室
1 学 習 目 標	<u>地域社会で孤立しないように日本語でコミュニケーションがとれるようにする。日常生活に必要な日本語、生活ルールが学べるようにする。</u> 新宿区日本語教室においては、新宿区における生活を想定し、新宿区の生活ルールを学びながら、日本語学習できるような内容となっている。そのため、特定の教材はあえて使わず、学習内容に、参考1にあげられた「新宿区日本語教室 学習者への情報提供」を積極的に取り入れるようにしている。
2 学 習 者	(1) 主な属性 日本人の配偶者及びその家族 ※学習者は、アジア中心（中国・韓国）で、日本人配偶者が多い。 (2) 年齢層 20～40代
3 教 育 内 容	(1) シラバスのタイプ 構造シラバス，技能シラバス，場面シラバス，話題シラバス (2) 具体的な学習項目 参考1参照 *これ以外に決められたものはない。 (3) 教材一覧 特定の教科書は使用していない。教具として、「日本語の教え方スーパーキット」「みんなのほんご／絵カード」「新日本語の基礎／絵カード」を必要に応じて使用。
4 教 育 期 間	(2) 時間／日 × (2) 日／週 × (36) 週 = 合計 (144) 時間 ※複数の教室を運営しており、教室によって時間数には若干の差がある。 ※一人に与えられる学習期間は2年間と定められている。
5 評 価	(1) 実施の有・無 ※学習者のレベルチェックとして実施 (2) 評価の目的 学習目標を達成した学習者の送り出しのため (3) 評価の時期と方法 各学期末 (7月, 12月, 3月) (4) 結果の活用 各教室の学習者受入れ人数決定の際の判断材料
6 そ の 他	○ 教室における教師はボランティアで、アドバイザーとして専門家の指導を随時受けながら教育を行っている。

参考 1

平成20年4月
新宿区 地域文化部 文化観光国際課

新宿区日本語教室 学習者への情報提供

※下の項目から学習者のニーズに合った情報を提供してください(全項目の情報を学習者に提供する必要はありません)。また、生活情報紙の参考ページ等をご覧いただき、日本語学習の内容にもぜひ取り入れていただきますようお願い致します。

NO	項目	内容	参考
1	しんじゅく多文化共生プラザ	・日本語学習コーナー(日本語教材設置、自由に利用できる)	しんじゅく多文化共生プラザリーフレット
2	ボランティア日本語教室	・区内のボランティア日本語教室の案内	ボランティア日本語教室パンフレット
3	困ったとき	・外国語で対応している相談窓口	生活情報紙 裏表紙
4	緊急時の通報先	・警察を呼ぶとき(110) ・消防車・救急車を呼ぶとき(119)	生活情報紙 ①「緊急のとき」-P2
5	病気	・東京都保健医療情報センター「ひまわり」(多言語対応) ・AMDA国際医療情報センター(多言語対応) ・休日急患テレフォンセンター(日本語対応) ・休日夜間診療(日本語対応)	生活情報紙 ①「緊急のとき」-P4・5 外国語広報紙12号P4・5
6	診察の受け方	・病院で使う日本語、症状の伝え方など	生活情報紙 ①「緊急のとき」-P6
7	火事	・日頃の備え、消火のコツ ・2010年4月1日から住宅への火災報知器の設置が義務化	生活情報紙 ②「災害に備えて」-P2・3
8	地震	・地震発生時の行動 ・日頃の備え ・NTT災害用伝言ダイヤル(日本語対応) ・避難場所(2008年4月から広域避難場所の一部が変更)	生活情報紙 ②「災害に備えて」-P4・5・6 巻末避難地図
9	外国人登録	・外国人登録証明書の変更・再交付・返納などの手続きと期間(特に引っ越したときの変更手続き) ●混雑期(3月下旬~4月上旬、7・10・1月) ●火~木の朝8:30~9:30は比較的すいています。	生活情報紙 ③「区役所での届出と手続き」-P5・6
10	税金	・住民税(毎年1月1日に居住していた区市町村に納める) ・所得税 ・確定申告(日本国外で給与等の支給を受けているなどで、給与を受ける際に日本の所得税を源泉徴収されないことになっている方など)	生活情報紙 ④「税金・医療・保険」-P2・3

「生活者としての外国人」に対する日本語教育に係る教育内容等に関する調査票

団 体 名	財団法人中国残留孤児援護基金 中国帰国者定着促進センター
コ ー ス 名	日本語・日本事情研修（大人Ⅲコース）
1 学 習 目 標	<p>帰国者が日本社会にできるだけスムーズに入り，再出発できるような状態になってもらうために，</p> <p>大目標：<u>日本での生活，日本人とのコミュニケーションに対する自信と意欲，それを裏打ちする基礎知識，基礎技能</u></p> <p>○中目標1：<u>身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能</u> <input type="checkbox"/>小目標 1-1～1-9：<u>交通，消費生活，センターでの生活，住居・近隣対応，職場・自分学校，健康，通信，社会福祉・手続，子弟教育</u></p> <p>○中目標2：<u>将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能</u> <input type="checkbox"/>小目標 2-1～2-4：<u>一般教養，異文化適応能力，日本語の自学自習能力，情報収集</u></p> <p>○中目標3：<u>身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力</u> <input type="checkbox"/>小目標 3-1～3-2：<u>身近な話題のコミュニケーション，日本語の基礎的な知識</u></p> <p>を目標としている。</p> <p>コミュニケーション能力は，コミュニケーションを通じてこそ伸びるものと考え，学習者が日本人とのコミュニケーションに対する自信と意欲，それを裏打ちする基礎知識・基礎技能の養成が必要と考えている。またセンターにおける教育期間は限られていることから，日本語の自学自習能力の養成等も目標としている。</p>
2 学 習 者	<p>(1) 主な属性 帰国者及びその家族</p> <p>(2) 年齢層 20～40歳が中心（サハリン帰国者，又は中国で日本語初級程度習得済みの者，又は日本語を準母語的に保持している者等を除く）</p>
3 教 育 内 容	<p>(1) シラバスのタイプ 多元的，統合的シラバス</p> <p>(2) 具体的な学習項目 <u>「行動」プログラム…</u> 交通機関の利用，銀行，郵便局，買い物，病院，電話，等 <u>「知識」プログラム…</u> 日本の社会（地理，気候，歴史，政治，産業・経済，等）， 日本の暮らし（冠婚葬祭，年中行事，市区町村役場，防災，情報，等） <u>「交流」プログラム…</u> あいさつ，物を借りる，物の用途を尋ねる，私のこと，日本と中国， 来客・訪問，いっしょに活動，等 <u>「ことば」プログラム…</u></p>

文字、語彙、発音、文型・文法、読解、作文、聴解、会話、等
 ＊＜達成目標＞
 小目標１：交通規則、道聞き、電車、バス、緊急時、商店知識、売り場、サービス、
 返品等、契約、金融機関、早退遅刻等、日直、センター規則、住居安全、
 住宅事情、近隣交際、引受人等、接客訪問、求職、職場習慣、面接試験、
 医療制度、健康衛生、病院利用、電話、郵便、帰国者援護、手続き、教育事情、
 学校事情、学校適応、
 小目標２：政治、戦後史、地理、生活様式・価値観、帰国者問題、機器操作、異文化適応、
 異文化事例、サポート利用、人生設計、学習意識、学習技能、学習評価、
 情報メディア、情報収集
 小目標３：コミュニケーション手段、話題、会話継続、文字、語彙表現、発音、文法文型、
 読解、作文

(3) 教材一覧

こつこつ日本語運転免許	第2版	正規出版物
漢字をおぼえよう 1	第1版	内部出版物
のんびり学ぼう I II (音読編付)	第4版	正規出版物
ひらがな練習帳1ー読んでみようー	第5版第3刷	正規出版物
ひらがな練習帳1ー読んでみようー (サハ)	第1版	非出版物
ひらがな練習帳2ー書いてみようー	第5版3刷	正規出版物
ひらがな練習帳3ーすらすら読んでみようー	第5版	正規出版物
ひらがな練習帳3ーすらすら読んでみようー (サハ)	10版	非出版物
カタカナ練習帳1ー読んでみようー	第3版3刷	正規出版物
カタカナ練習帳1ー読んでみようー (サハ)	第1版	非出版物
カタカナ練習帳2ー書いてみようー	2002/02/15	正規出版物
カタカナ練習帳3ーすらすら読んでみようー	第3版3刷	正規出版物
カタカナ練習帳3ーすらすら読んでみよう (サハ)	第1版	非出版物
ひらがな練習帳1ワークブック (中サハ版)	第1版	非出版物
ひらがな練習帳1ワークブック (中T版)	1997/01/31	非出版物
ひらがな練習帳1ワークブック (サハ版)	第1版	非出版物
カタカナ練習帳1ワークブック (中サハT版)		非出版物
カタカナ練習帳1ワークブック (中T版)	第2版第3刷	非出版物
カタカナ練習帳1ワークブック (サハ版)	第1版	非出版物
文字の練習／聞き書きひらがな	第3版2刷	正規出版物
文字の練習／聞き書きカタカナ	第2版第3刷	正規出版物
身のまわりの漢字	第6版	非出版物
身のまわりの漢字(T版)	第7版	非出版物
身のまわりの漢字 (サハ)	第10版	非出版物
身のまわりの漢字 (サハT版)	第7版	非出版物
中国の漢字と日本の漢字	第4版	絶版
“すいすい引いてみよう		
ー日漢辞典と漢和辞典が引けるようになるために”	第2版	絶版
すいすい引いてみよう (サハT版)	第2版	非出版物
文型数学	初版	正規出版物
あたらしいぶんけいさんすう	第5版	正規出版物
私のことー私の家族	第7版	絶版
私のことー私の故郷	第7版	絶版
私のことー日本と中国の食べ物	第7版	正規出版物
私のことー中国での生活	第7版	絶版
私のことー私の趣味	第7版	絶版
私のことー中国の行事・日本の行事	第7版	絶版
私のことー教育	第6版	正規出版物
日本の生活とことば1 あいさつ	第4版2刷	絶版
日本の生活とことば2 郵便局・商店 (T版)	第10版	非出版物
日本の生活とことば2 郵便局・商店 (T版) (サハ)	第10版	非出版物
日本の生活とことば4 交通 (T版)	第10版	非出版物
日本の生活とことば4 交通 (T版) (サハ)	第10版	非出版物
日本の生活とことば7 病気・情報編	第5版	非出版物

	<p>日本の生活とことば 6 病気 (T 版) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 6 病気 (サハ) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 7 病気・情報編 (サハ) 非出版物 日本の生活とことば 8 銀行・情報編 第 5 版 正規出版物 日本の生活とことば 8 銀行・情報編 (サハ) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 9 電話 第 5 版 絶版 日本の生活とことば 9 電話(T 版) 第 5 版 内部出版物 日本の生活とことば 10 電話・情報編 第 5 版 絶版 日本の生活とことば 10 電話・情報編 (T 版) 第 5 版 内部出版物 日本の生活とことば 9 電話 (サハ) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 10 電話・情報編 (サハ) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 11 面接 第 5 版 絶版 日本の生活とことば 12 学校－保護者編・別冊 第 3 版 2 刷 絶版 日本の生活とことば 12 学校－保護者編・別冊(T 版) 第 3 版 2 刷 非出版物 日本の生活とことば 12 学校－保護者編・別冊 (サハ) 非出版物 日本の生活とことば 15 仕事 (T 版) 第 10 版 非出版物 日本の生活とことば 15 仕事 (T 版) (サハ) 第 10 版 非出版物 社会科の基礎 (上) 第 4 版 非出版物 社会科の基礎 (上) (T 版) 第 10 版 非出版物 社会科の基礎 (下) 第 3 版 非出版物 中国の地理と歴史 第 3 版 絶版 公 民 第 5 版 非出版物 日本の歴史 第 4 版 非出版物 日漢対訳 日本歴史 第 1 版第 6 刷 非出版物 中学英語文法の参考 第 2 版 非出版物 日本ってどんな国? 1－日本の社会－ 第 10 版 非出版物 日本ってどんな国? 2－日本の暮らし－ 非出版物 日本ってどんな国? 1－日本の社会－(サハ) 第 10 版 非出版物 日本ってどんな国? 2－日本の暮らし－(サハ) 非出版物 ことばと表現 I～IV (CD 付) 第 5.1 版 内部出版物 日本の歩みと世界 非出版物 交流 (合本) 第 5 版 非出版物 交流 (合本) (サハ) 第 10 版 非出版物 正規出版物…援護基金から外販されているもの 内部出版物… (所沢センター内で簡易製本された教材) 非出版物…所沢センター内で簡易製本され、外販されていないもの 絶版…以前正規出版物として外販されていたが、外販を止めたもの</p>
4 教育期間	<p>(5) 時間/日 × (5) 日/週 × (21) 週 = 合計 (525) 時間</p>
5 評価	<p>(1) 実施の有・無 実施している。研修生の現在の日本語能力 (及び生活行動能力) を評定し、研修内容と方法の改善に役立てるとともに、定着地での学習へのアドバイスにつなげる</p> <p>(2) 評価の目的 研修生の現在の日本語能力 (及び生活行動能力) を評定し、研修内容と方法の改善に役立てるとともに、定着地での学習へのアドバイスにつなげる</p> <p>(3) 評価の時期と方法 入所 4 か月目及び 6 か月目に水準判定を行う。水準判定の前に各種テストや観察記録などのデータをそろえる。</p> <p>(4) 結果の活用 修了評価 (通信簿) を定着地自治体 (受入れ関係者) に伝え、定着地での学習支援に役立ててもらおう</p>

「生活者としての外国人」に対する日本語教育に係る教育内容等に関する調査票

団 体 名	財団法人海外技術者研修協会（A O T S）
コ ー ス 名	産業技術者育成支援研修事業受入研修 6 週間コース
1 学 習 目 標	<p>高度人材を対象とした、企業における研修</p> <p>外国人の職場への適応（ソフトランディング）ばかりでなく、地域への適応（ソフトランディング）や自律的学習力の養成を目標に、短期集中の教育を実施している。日本語だけでなく、日本での生活の仕方もあわせて教育してほしいという企業からの要望にこたえ、カリキュラムは、社内及び社会の中で生きるスキルの養成を教育理念として実施している。</p>
2 学 習 者	<p>(1) 主な属性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生、技術研修生、ビジネス関係実務者、その他（アジア人財資金事業の留学生及び、EPA に基づく看護介護福祉士候補者） <p>(2) 年齢層 20 歳代～40 歳代</p>
3 教 育 内 容	<p>(1) シラバスのタイプ</p> <p>構造シラバスを中心として、技能シラバス、場面シラバス、課題シラバス、話題シラバス、機能・概念シラバスを折衷したカリキュラム、シラバス</p> <p>(2) 具体的な学習項目：<u>別紙 1</u></p> <p>日本語総学習時間： 1 4 1 時間（4 7 単位）</p> <p>コースの特徴：</p> <p>A O T S の一般研修における標準コースです。初めて日本語を学習する研修生の場合、初歩的な文法（7 5 文型）、語彙（約 8 0 0）、仮名と漢字（1 0 0 字）を習得し、日本での生活や研修に必要な簡単な会話ができ、平易な文、又は、短い文章が読み書きできるようになります。日本語能力試験 4 級相当の能力を達成目標としています。日本語のカリキュラムは 1 4 1 時間の対面授業に加え、夜間の W B T（W e b B a s e d T r a i n i n g）研修を毎日 1 時間半実施します。日本語以外の単元については、実地研修に向けて、日本の生活習慣、日本事情、日本の企業の特徴や規律、ビジネスマナー等を講義や見学を通し効果的に学べるようになっています。</p> <p>(3) 教材一覧：<u>別紙 2</u></p>
4 教 育 期 間	<p>(3～6) 時間／日 × 6 日／週 × 6 週</p> <p>= 合計 1 4 1 時間（4 7 単位）</p>
5 評 価	<p>(1) 実施の有・無</p> <p>実施しています。</p> <p>(2) 評価の目的</p> <p>(ア) 受入れ企業への報告</p>

	<p>(イ) 学習へのフィードバック (ウ) カリキュラム改善 (エ) 経済産業省への報告 (オ) その他</p> <p>(3) 評価の時期と方法 (ア) 初期 (ウ) コース終了時 (イ) 各課終了時 (エ) 企業内実地研修中実地研修視察</p> <p>(4) 結果の活用 (2) 同上</p>
--	---

J 6 W カリキュラム

日本語: 141 時間(3h×47 単位) 夜間 WBT: 48 時間(月～土 毎晩 1 時間半)

講 義:	7 単位	研修旅行: 2泊3日 1回 (6単位)
見 学:	4 単位	
会 議:	4 単位	

日付		午前 (9:00-12:00)	午後 (13:30-16:30)	午後 (17:00-18:30)	午後 (19:30-21:00)
1 週 目	()	会	1		研修
	()	2	1		研修
	()	3	1 見学		研修
	(土)	4			研修
	(月)		6		研修
	()	7			研修
2 週 目	()	9	2 日本	間 会 (日本語)	研修
	()	10	11		研修
	()	12	13		研修
	(土)	14			研修
	(月)	1	2 学		研修
	()	16	17		研修
3 週 目	()	18	17		研修
	()	20	3 日本		研修
	()	21	22		研修
	(土)	23			研修
	(月)	24	語 日本語		研修
	()	2	26		研修

4週目	()	27	28		研修
	()	29	3		研修
	()	30	31		研修
	(土)	32			研修
	(月)	33	会		研修
	()	34	3		研修
5週目	()	36	日本 研修 (2)		研修
	()	37	見学		研修
	()	38	39		研修
	(土)	40	()		研修
	(月)	41	42		研修
	()	43	研修 (2)	間 会 (研修旅行)	研修
6週目	()	研修旅行(2泊3日)			
	()				
	()				
	(土)	44			研修
	(月)	4	46		研修
	()	47 修 後 学	会 日本語		

http://nihongo.aots.or.jp/learn/pdf/003_1.pdf より

■AOTS 日本語教材一覧 (http://nihongo.aots.or.jp/learn_g.html)



AOTS日本語教材一覧

実践が生んだ短期集中日本語学習システム

『新日本語の基礎シリーズ』教材の構成(テキストとその周辺教材)

AOTSでは『新日本語の基礎Ⅰ』、『新日本語の基礎Ⅱ』、『新日本語の中級』等のテキストを開発し、学習者のレベルに応じて主教材(本冊)として使用しています。国籍が多様な研修生のために、本冊の新出語彙、会話等を各国語に翻訳した分冊と、各国語で各課の文法説明を簡潔にまとめた文法解説書を用意しています。また、文字学習の必要のある研修生用に仮名や漢字の文字学習教材を揃えています。

◎各テキストの概要

構成/学習レベル	新日本語の基礎Ⅰ 1～25課/初級前期	新日本語の基礎Ⅱ 26～50課/初級後期	新日本語の中級 1～20課/中級前期
時間	100時間	100時間	100～120時間
語彙(基本+生活語彙など)/基本句型	約800/75	約680/64	約1,200/129(学習項目)
学習到達目標	日常生活に必要な基礎的会話能力を修得する。	研修や日常生活に必要な実践的会話能力を養成する。	既習の知識を統合し、実社会で役立つ実践的会話能力を身につけ、日本人との豊かなコミュニケーションができるようになる。

AOTS日本語教材は [日本語学習教材を扱う出版社](#) で購入できます。

研修生用



教師用



「生活者としての外国人」に対する日本語教育に係る教育内容等に関する調査票

団 体 名	学校法人江副学園 新宿日本語学校
コ ー ス 名	日曜コース
1 学 習 目 標	<p><u>生活に必要な日本語の習得</u></p> <p>生活場面は学習者によって様々で、必要な語彙は学習者によって異なる。しかし、文法はどのような場面にも共通して必要である。よって生活に必要な日本語の学習は、文法の習得を第一の目標にすべきである。場面ごとの表現だけを学習しても話は展開させられず、結果地域において十分な人間関係も築くことは難しい。様々な場面で応用できる文法を中心とした日本語の学習を目標とする。</p>
2 学 習 者	<p>(1) 主な属性 日系人及びその家族（ブラジル人，ペルー人），その他</p> <p>(2) 年齢層 20代後半～30代後半</p>
3 教 育 内 容	<p>(1) シラバスのタイプ 構造シラバス，技能シラバス，話題シラバス</p> <p>(2) 具体的な学習項目 文法，会話，生活会話等 (家族，料理，日常，連絡，病気，生活)</p> <p>(3) 教材一覧 【初級】 新実用日本語1～2，聴解練習帳1～2，生活漢字練習帳，動詞練習帳，助詞学習帳（他）漢字1000練習帳 等 【中級】 新実用日本語中級1～2，漢字1000練習帳 等。</p>
4 教 育 期 間	<p>3か月を1コースとした場合。(2.5)時間/日 × (1)日/週 × (11)週 = 合計 (27.5)時間</p>
5 評 価	<p>(1) 実施の有・無 有（ただし，通常クラスのような試験中心ではない）</p> <p>(2) 評価の目的 3か月ごとのクラス編制変更のため</p> <p>(3) 評価の時期と方法 コースの終了直前 面接</p> <p>(4) 結果の活用 コースの編成</p>
6 そ の 他	<p>○ 日本の地理，日本事情，歴史，現代社会については宿題として自習させた。</p>